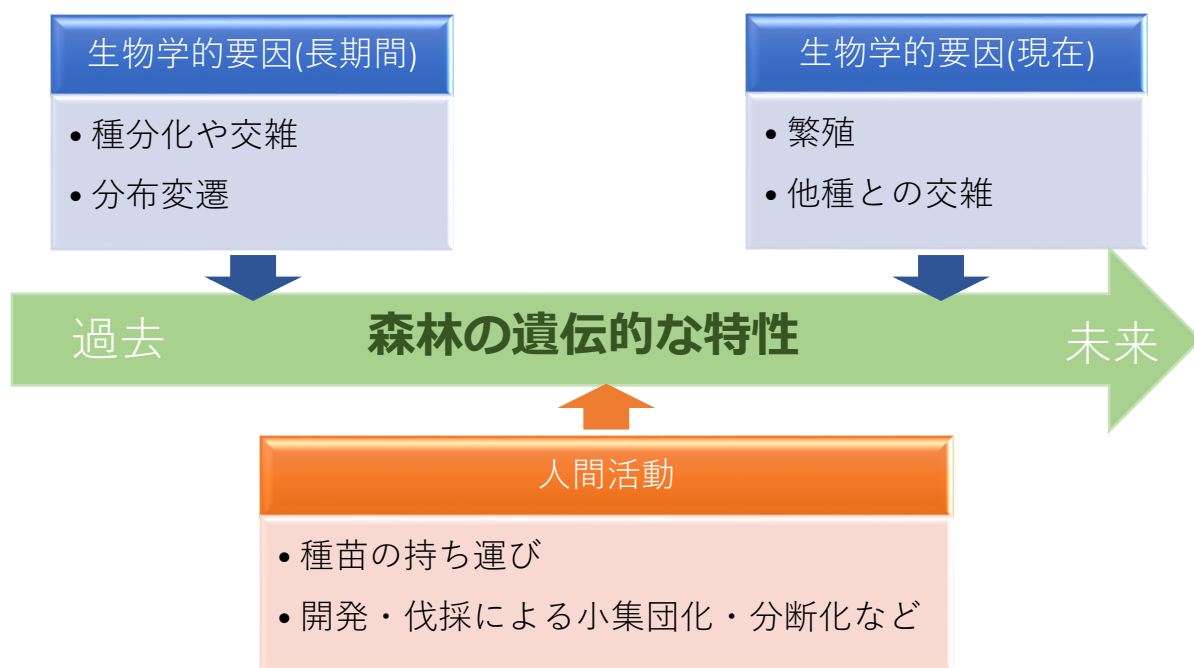


人と森林のより良い関係の構築のために

適切かつ効果的に森林を保全するためには、森林生態系の仕組みやどのようにそれが成立してきたかの経緯を知る必要があります。私たちはDNA解析データを根拠とした保全単位や保全優先度などを提案することを目指しています。また対象樹種が健全に種子を作っているかや他種と交雑しているかなど、森林保全には欠かせない森林内の繁殖実態に関する研究も行っています。さらにそれらに人間活動が影響を及ぼすかどうかについても調査を行い、人と森林のより良い関係を探っていきます。



▲富士山北麓斜面の天然林



▲京都府の里山の景観